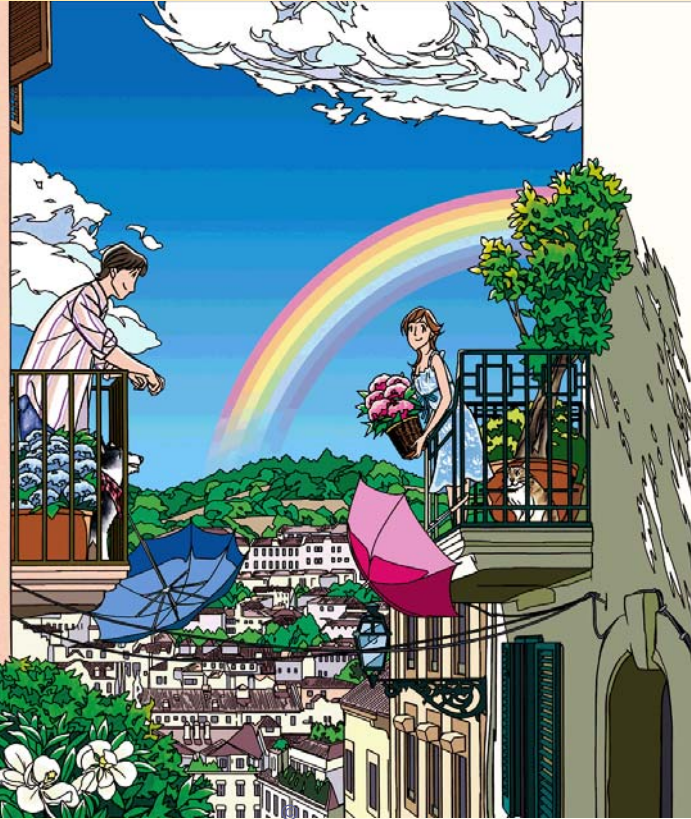


応用人間科学研究科の軌跡と奇跡

基調講演 「対人援助とイメージ力」 —イラスト制作を中心にした仕事の経験から見えてくること—



© わたせせいぞう/APPLE FARM INC.

講師：わたせ せいぞう氏

(神奈川大学特任教授)

日時：2015年10月25日(日)
14:00~16:30

2001年に誕生し、「対人援助に関わる連携と融合」というキーワードをもとに、「人を助ける」という実践的行為について、教員と院生が協力して追求してきた応用人間科学研究科。

15周年を迎えた今、対人援助にしなやかな「イメージ力」がどうして必要なのか、現場で「イメージ力」を活かすにはどうしたらよいか、わたせ氏の講演や修了生をまじえたシンポジウムを通じて考えます。

会場 立命館大学 衣笠キャンパス

創思館 カンファレンスルーム

※駐車場はございません。お車での来場は御遠慮ください。

定員 150名 (申込みによる先着順)

申込方法 メール、FAXのいずれかで下記の5点を記入の上、お申込み下さい。

①お名前(ふりがな)②郵便番号、住所
③電話番号④参加人数⑤その他

(応用研修了生の方は⑤にその旨明記して下さい)

申込期限 10月21日(水)

～第一部～

- 開会挨拶
「応用人間科学研究科の軌跡」
研究科長 荒木 穂積 (応用人間科学研究科 教授)
- 基調講演 わたせ せいぞう氏 (神奈川大学特任教授)
- 基調講演を受けて
ファシリテーター：春日井 敏之 (応用人間科学研究科 教授)
コメンテーター：鶴野 祐介 (応用人間科学研究科 教授)
- フロアーからの質疑応答など
- 休憩

～第二部～

- シンポジウム
「イメージの生かし方」
コーディネーター：野池 雅人氏
(応用人間科学研究科修了生 校友会 会長)
シンポジニスト：応用人間科学研究科修了生
コメンテーター：中村 正 (応用人間科学研究科 教授)
- イベント
■CUPs(カップす)
応用人間科学研究科大学院1回生有志
■ピクチャーブック・ヒーリング
応用人間科学研究科修了生・大学院生・教職員
- 閉会挨拶
「応用人間科学研究科の奇跡」
中村 正 (応用人間科学研究科 教授)

★会場には東日本家族応援プロジェクト、高大連携プロジェクト等のポスターを展示しています。



講師：わたせせいぞう氏

神戸市生まれ。大学卒業後は、営業職として勤務しながら休日を利用して絵を描き始める。1983年、代表作の『ハートカクテル』を『モーニング』(講談社)誌上で連載開始。1985年退社以降作家活動に専念する。1987年「私立探偵フィリップ」(実業之日本社)第33回文藝春秋漫画賞受賞。現在神奈川大学では外国語学部国際文化交流学科に所属し、「日本文化論(表象)」を担当。大学生対象にイメージ力をつける授業をおこなっている。

【申込・お問い合わせ】

立命館大学 衣笠独立研究科事務室

TEL:075-465-8375 / FAX:075-465-8364 (月～金)

E-mail: doku-ken@st.ritsumei.ac.jp

主催：立命館大学大学院応用人間科学研究科